

三国山&足和田山山行報告

【山行日】2024年5月11~12日(土日)

【集 合】岩舟支所P AM 6:00

【費 用】マイカー2台 : 12,700円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL:大西 飯口、
飯野、植竹、大塚、鈴木フ、関、福島、渡邊

【コースタイム】27日:岩舟支所 P6:00=パノラマ台
P8:40/9:20~鉄砲木ノ頭 9:50/10:10~三国山
10:45/10:55~大洞山 11:50/12:30~アザミ平
12:55~立山東分岐 13:15~立山展望台
13:30/13:40~立山東分岐 13:55~

山中湖村公園墓地 P14:15/14:25=カトレア荘 15:15

今年の富士五湖合宿は、三国山と足和田山を計画した。三国山は鉄砲木ノ頭から山中湖越の富士山が素晴らしく、もう一度見てみたいと思った。足和田山は宿のカトレア荘から直接登れ、富士山



の展望が抜群の尾根歩きで、下山後のカトレア荘のカレーが美味しいからである。

岩舟支所を6:00に出発し圏央道から中央道、東富士周遊道路を經由してパノラマ台駐車場に車を止める。富士山のビューポイントの為多くの車が止められ、かろうじて2台止めることが出来た。

皆さんが出発の準備をする間に、我輩とF島さんは下山口の駐車場に車をデポしに行く。公園墓地駐車場に1台車をデポしてパノラマ台駐車場に戻り、我々が出発の準備をする

間に皆さんは出発する。2人で後から皆さんを追いかけるが、いきなり急坂の登りに息が切れ中々追いつかない。途中で皆さんが小休止し、ようやく追いつき皆さんと行動を共にする。

カヤトの登山道を登ると鉄砲木ノ頭に着き、広々とした山頂には山中諏訪大社奥社が祀られ富士山の展望が素晴らしい。雄大な富士山が山中湖の上に聳え、富士山の右側には南アルプスの山々が全て見渡せる。

「ウワ~凄い、こんな景色見たことない！」や「今日はこの景色を見られただけで大満足です」とスマホで撮りまくっていた。O嬢手作りのチーズケーキを食べながら、最高の景色を心ゆくまで堪能した。ここから三国峠に下って行くが、富士山を見ながら楽しく下って行く。



峠の手前に白いヤマシャクヤクが咲いていて、初めて見る花に感動していた。道路を横断して反対側の登山道を登り、自然林の急坂を登り切ると三国山山頂に着く。木々に覆われて展望は無いが、



広く平らで休憩にはうってつけの山頂である。休憩してパイナップルや菓子をいただくが、下界からの音が騒がしい。左下から富士スピードウェイの車の音や自衛隊北富士演習所の砲撃演習の音、右下からは山中湖ロックフェスティバルと賑やかである。三国山からは山中湖の南岸に沿った山稜を辿って行く。ブナやミズナラなどの樹相が美しく、まさに稜線散歩と言った歩きが続く優しいコースだ。緩やかなアップダウンを繰り返しながら進み、楢木山をへて一登りで本日の最高点大洞山

の山頂に着く。記念写真を撮ったらランチタイムとし、久しぶりにキノコうどんを作っておにぎりやお稲荷さんをいただく。清々しい新緑の山頂でいただくランチは、何よりも美味しく感じられた。ここから籠坂峠に向かって進むが、平坦な稜線歩きはとても楽しい。時折ミツバツツジのピンクの花が出迎えてくれ、柔らかい新緑の木々とのコラボに癒される。樹林帯から明るく開けた場所に出ると、正面に大きな富士山が顔を見せてくれる。畑尾山を越えた先がアザミ平で、夏の終わりにはフジアザミ等の花で彩られる。アザミ平の先の立山東分岐で我輩とF島さんは下山し、公園墓地駐車場からパノラマ台に車を取りに行く。皆さんた



ちはこの先の立山展望台まで登り、愛鷹連峰や富士山の展望を楽しんでから下山する。パノラマ台で車を回収して戻ると、皆さんが公園墓地から下って来た。公園墓地駐車場で待つように伝えたが、SLは場所がいまいち分からなかったようだ。車をUターンさせて皆さんを乗せ、今宵の宿カトリア荘へ向かった。山中湖畔の道路が渋滞したが、それほど遅れることなくカトリア荘に到着した。女将さんと再会を喜び合い、いつもの2階の大広間に案内される。荷物を片付け落

ち着いたら交代で風呂に入り、全員が風呂から上がったら反省会が始まる。八海山大吟醸とビールで乾杯し、楽しい反省会が始まった。皆さんが持ち寄ったおつまみでお酒が進み、皆さんの会話も大いに弾んでいた。18:00から夕食になり、1階の食堂でいつもの美味しい食事をいただいた。

明日朝の河口湖湖畔散歩を聞くと、皆さん行きたいとの返事で6:00出発と告げてお開きにする。部屋に戻ったら明日の準備をし、早起きに備えて床に就く。

28日:カトリア荘 8:00～三湖台 9:00/9:10～足和田山 10:10/10:30～紅葉台 11:15/11:35～三湖台 11:50～カトリア荘 12:15/13:00＝岩舟支所 P16:00

朝5:00に起きて窓の外を見ると曇り空だが、雨の心配は無さそうで安心する。これから大石公園



に散策に出かけるが、この空では富士山の展望は無いただろうとあきらめていた。6:00にカトリア荘を出発し、河口湖畔の道路に出ると富士山がくっきりと見える。「エ～こんなにはっきりと富士山が見えるんだ」と驚き、ラッキーと思いながら大石公園に着く。駐車場には多くの車が止まっていたが、去年の秋ほどの混雑ではなく何とか止めることが出来た。大石公園はSNSで人気スポットになり、特に外国の観光客に人気のものである。今日も多く外国人で賑わっていて、ネモフ

イラの花と富士山をバックに写真を撮っていた。我々も順番を待って記念写真を撮り、花を楽しみながら公園内を散策する。散策が済んだらカトリア荘に戻り、そのまま1階の食堂で美味しい朝食をいただく。

卵焼きに焼き魚、海苔と納豆など、定番の朝食メニューだが、毎回美味しくいただける。朝食が済んだら荷造りして荷物を車に積み、宿の前でストレッチを行ってから出発する。カトリア荘から民宿の間を北に5分ほど歩くと登山口に到着、トイレを済ませてから登山道に入る。広い坂道を登って行くと尾根に出て、松



混じりの自然林の中を登るようになる。登るにしたがって急登になり、九十九折れの道を登ると広く平坦な三湖台に出る。三湖台には東屋やベンチが置かれ、木製の立派な展望デッキも設置されている。ここからの展望は素晴らしく、富士山や青木ヶ原樹海と本栖湖、南アルプスの山々が望める。今日は南アルプスは見えないだろうと思っていたが、曇り空でも真白く輝いて見えた。三湖台は南北に細長い台地で、大きな富士山に向かって歩く登山道に感動する。ここから東海自然



歩道を歩いて足和田山に向かうが、尾根上に付けられた自然道と平行して林道が通っている。

往路は尾根上の東海自然歩道を歩き、復路は林道を歩くことにする。三湖台から大きく下り、緩やかにアップダウンを繰り返しながら稜線を進む。新緑の稜線歩きは気持ちよく、時折樹間から富士



山が望め爽快に歩いて行く。初めての皆さんが「このコースもとても良いコースですね」と言うと、徳ちゃんが「このコースは何回登っても素晴らしいコースだよ」と答えていた。大きな登りは無いので皆さん楽しそうに歩き、疲れることなく足和田山に着く。足和田山山頂には立派な展望舎が立ち、富士山や大室山、毛無山塊の展望が得られる。別名五湖台とも呼ばれ、かつては富士五湖すべてが見渡せるすぐれた展望があったが、今ではスギなどの木々が育ち往年の展望は見

られない。プリンやゼリーをいただきながら展望を楽しみ、山頂標識の前で記念写真を撮ったら下山開始する。下山は往路を戻すが、並行して付けられた林道を下って行く。広い林道歩きは会話が弾み、賑やかにおしゃべりしながら三湖台の上り口に着く。ここでSLと徳ちゃんは我々と分かれて三湖台に登り、そのままカトレア荘に向かって下山する。残りの8名は林道を直進し、紅葉台に向かって歩いて行く。紅葉台に着いたら展望レストハウスで展望台入場料を払い、トイレを使用したら屋上展望へ



上がる。屋上展望台からの富士山は雄大で、青木ヶ原樹海や大室山の景色が素晴らしい。展望を楽しんだら三湖台に登り返すが、三湖台は中学生の団体に占領され休まず下山開始。急坂を降りて行くと前方で2人の声がする。オーイと呼ぶとハイと返って来て、SLと徳ちゃんと合流する。ここから全員で下山し、無事カトレア荘に到着した。カトレア荘で頼んでおいたカレーライスをいただくが、サラダが付いてとても美味しいカレーライスである。

我輩はお代わりして2杯食べてしまった。昼食が済んだら女将さんに別れの挨拶、名残惜しいがカトレア荘を後にする。帰りの道はナビが上手に裏道を案内し、中央道に早く入ることが出来た。お蔭で小仏トンネルの渋滞も無く、予定よりかなり早く岩舟支所に帰着出来た。2日間共雄大な富士山を見ながら歩け、大満足の山行となった。